

タシケント火力発電所近代化事業の概要

(1) 背景

ウズベキスタン国の発電所は、旧ソ連時代に建設されたものが大半であり、老朽化が進んでいます。

しかしながら、市場経済化の進展に伴う電力需要の増加が見込まれるため、同国にとっては、電力の安定供給が重要課題となっています。

タシケント火力発電所(12基、合計出力186万kW)は首都タシケント市の近郊に位置し、同国全体の設備容量の約17%を占める重要な発電所ですが、設備の老朽化とプラント効率の低下が深刻な問題となっています。

本計画は、こうした状況を踏まえ、同火力発電所構内に高効率のガス複合火力発電プラント1基(37万kW)を建設し、タシケントを中心とする地域に安定的な電力供給を可能にするとともに、同国で産出する天然ガスの効率的利用を促し、環境負荷を軽減することが期待されています。なお、新規設備の建設後は既設設備のうち2基の運転が停止される予定となっています。

(2) 事業概要

総事業費 :	29,358 百万円 (うち円借款 24,955 百万円)
事業実施者 :	ウズベクエネルギー電力公社 (SJSC UZBEKENERGO)
事業の概要 :	37 万 kW ガス複合火力発電プラントの建設
工期 (予定) :	2006 年春工事着手 2008 年冬商業運転開始

(3) 受注業務の概要

ア 業務内容 :

ウズベクエネルギー電力公社に対して、以下に関するコンサルタント業務(施工監理)を行います。

国際入札、 施工監理

イ 業務期間 : 2005 年初め ~ 2009 年 12 月 (予定)

ウ 契約金額 : 約 6 億円

(4) ウズベキスタン国の概要

首都 : タシケント
人口 : 約 2,400 万人
面積 : 約 45 万平方メートル
電力需要伸び率 : 2 - 3 % / 年
電力消費量 : 43,400 GWh / 年

(5) 計画地点位置図



(C) 2000 Microsoft Corp. All rights reserved.

タシケント火力発電所現況

